

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回宍粟市観光基本計画検討委員会	
開 催 日 時	令和4年5月19日（木）15：00～16：30	
開 催 場 所	宍粟市役所 3階 庁議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	三宅 康成	
委 員 氏 名	（出席者） 上野徳之、山田拓也、西山大作、 中元淳、片桐幸之助、志水啓吾、 坂口雅彦、前井真貴、廣重希美、 加藤智子	（欠席者） 岸本欣也、榎谷米男
事 務 局 氏 名	商工観光課：藤原課長、上杉係長、前野主査、久保	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 2. ふるさと宍粟の観光基本計画（第3次） 骨子案の政策決定について 3. ふるさと宍粟観光基本計画（第3次）素案について	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） _____ 印	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	1 開会
委員長	皆さんに様々な意見をいただいて、良いものにしていきたいと思っているので、引き続きよろしくお願ひいたします。
事務局	事務局より、宍粟市アウトドア活動推進計画、宍粟市パンフレット、ジャパンエコトラックについて説明。
委員長	市民の方は、宍粟市アウトドア活動推進計画について認識されているか。
事務局	各自治会長には説明させていただいている。自治会をとおして、各家庭へ周知をお願いしているところである。
委員	モンベルと提携することになった経緯などはあるか。
事務局	しそ森林王国観光協会が、モンベルのフレンドエリアに登録されており、モンベル商品を活かしたアウトドアの推進や取り組みがある。また、音水湖のカヌーを推進する際に、モンベルの協力をいただいた経緯などがあり、以前からご縁があった。
委員	ジャパンエコトラックの掲載施設の基準はなにか。
事務局	基本的に、ルート上にあり、なおかつサイクリストに何らかのサポートをしていただける施設を掲載している。
委員	掲載理由を知らない施設の方が見たときに、なぜ自分の店は対象でないのかと感ずるのではないか。掲載理由などを掲示した方が良いと感ずる。
事務局	ジャパンエコトラックの仕様や表記が決まっているので、理由を掲載することは難しい。そのような問い合わせがあった場合は、説明させていただく。いただいたご意見は、増刷や改訂の際に検討させていただく。
委員長	2 報告事項 ふるさと宍粟の観光基本計画（第3次）骨子案の政策決定について事務局より説明をお願いします。
事務局	事務局より説明
委員長	3 協議事項 ふるさと宍粟観光基本計画（第3次）素案について事務局より説明をお願いします。
事務局	事務局より説明
委員	スケジュール案について、今回の協議事項について1回の検討では足りないのではないかと感ずる。

事務局	今回の議題で出た意見等を、次回の議題内容と共に修正案を提示させていただく。
副委員長	しそう森林王国観光協会のホームページを3月からリニューアルされたと思うが、直近のアクセス数などの実績やデータはあるか。
事務局	データはあるので、後日報告させていただく。
副委員長	見られることを意識した、すごく良いものだと感じた。機会があれば参考にさせてもらえたらいいなと感じた。
委員	計画の概要について、観光よりも市民のための人口減少対策が大切ではないかという声もある。宍粟市がなぜ自発的に観光に取り組まなければならないのか、市民のための人口減少対策として観光が必要だということを強く主張していただきたい。
事務局	今回いただいたご意見をどのように表記するか精査させていただく。確かに、観光振興が人口減少対策の起爆剤として重要なことは、十分承知しているので、検討させていただく。
委員	別紙3の5ページ、③ふるさとを活かす とあるが、ここに市民のもっている情報やアイデアを人の財産として取り入れ、人を活かすという観点があれば良いと思う。アンケート調査をうまく使えば、人を活かせるのではないか。
委員長	アンケート調査は、実状を知ってもらう機会にもなる。
委員	別紙3の3ページ、観光の現状については、もっと大きな社会的傾向をとらえ、今後の観光の参考にすべきではないかと考える。全国と市を対比した方が、課題が浮き彫りになるのではないか。例えば、全国的には旅行形態がマストゥリズムからマイクロトゥリズムやグリーントゥリズム、ニュートゥリズムへ変化し、旅行者は年々増加した。宍粟市は、多くの観光資源を有しているが、近隣自治体と比較して目的地とされることが少なく、2005年の136.3万人をピークに横這いを続けていたが、2015年以降は減少傾向にある。全国的には、2019年まで観光客が右肩上がりなのに対し、宍粟市は観光地として選ばれる機会を逃している。また、最上山もみじ山や大歳神社、国見の森公園などが地域住民によるイベントを通して新たな観光資源として期待されている、と追記してはいかがか。
委員長	宍粟市のグリーントゥリズムの主流は何か。
事務局	宍粟市はセラピーが主流であり、セラピーバイク等、新たな取り組みを行っている。また、宍粟50名山などもある。
委員	宍粟市の課題として、次の3つを追加してほしい。 <ul style="list-style-type: none"> ・住民による地域の魅力を発信する活動を、新たな観光資源として活用する取組 ・観光資源や特産品を発掘・開発し、さらに付加価値を高める取り組み ・観光資源が多いという強みを活かし、訪れた観光客を他の観光地や観光シーズンへと展開する取組

	また、宍粟市の地理条件に、歴史の追加をしてほしい。
副委員長	歴史が地理条件に入るか、疑問がある。
事務局	歴史も宍粟市の観光財産ではあるので、精査させていただく。
委員長	一緒に混在させるのであれば、地理的・社会的条件と表記することが多い。交通も人がかかわるものに関しては、厳密に地理になるのか引っかけるところではある。
委員	観光まちづくりの基本方針と目標について、6点の意見がある。 1点目は、実績報告書の目標達成度を見た時、年度ごとの実績値が示されていないものがあるが、事業検証の基となる実績調査が毎年度行われることが最低の条件ではないか。 2点目は、5年のうち1回程度しか調査できていないのであれば、データの連続性が確保されているとは言えない。調査項目の見直しを検討すべきではないか？ 3点目は、白紙状態で考えた時、この計画が目標とすべきは、1. 交流人口の拡大による市内経済の活性化、2. 観光まちづくりによる地域コミュニティの活性化、3. エコツーリズムによる自然や文化資源の保全、の3つに集約されるのではないか。目的達成のための指標としては、この3点の達成度を把握すべきである。 4点目は、基本計画の目的自体も前に述べた3つではないか。 5点目は、「目指す観光の将来像」が計画の目的であれば、前に述べた3つの目的を中心的な柱として記載すべきではないか。 6点目は、以前、他の委員から提案のあった「100年続くふるさと」には、前に述べた3つが見事に言い表されていると思う。この文脈で「めざす観光の将来像」に反映させることはできないか。 以上、骨子案とは別角度の表記になるかと思うが6点提案させていただく。
事務局	基本的に、内部でも政策決定をしており、骨子を変更することはできない。いただいたご意見は、すべて反映することはできないが、内部で検討させていただきます。
委員	観光入込客数の目標をどう設定するか。目標に根拠がなければ努力目標になってしまう。これまでの観光入込客数をもとに理想客数を考え、市全体の数値を決定すべきではないか。 観光消費額や経済波及効果に関しては、同じ観光入込客数からでももっと大きな経済効果を導き出せる可能性がある。計算方法を専門家に相談するなど、どうすればもっと効果が上がるのかを考えるためのデータがとれる体制を作ってほしい。
事務局	目標数値に関しては、総合計画に記載があるように既に設定されている。これを変えるのは難しいことをご理解いただきたい。観光消費額や経済波及効果に関しては、今後どのようなアンケートを取ればよいのかも含めて検討させていただきます。
委員	播磨地域の観光取り組みを紹介させていただくと、姫路市では大手前通りのスペースを、公募で占用してもらい取り組みを行っている。加古川市では河川敷を使ったイベントを行っている。小野市では桜堤みを活かした取

	り組み、高砂市では海浜公園を活かした取り組みなど、地元にある資源を見つめなおした取り組みをされている。宍粟市にもたくさんの資源があると感じたので、そういう動きも参考に、将来的な展望を検討されると良いと感じた。
委員	宍粟市を知らない人が来ても、宍粟市が身近に感じられるようなきっかけづくりが大事だと感じている。宍粟市に住んでいる人が身近に感じていることを大事にして、来た人にも身近に感じてもらえる、ハードルの高すぎないきっかけづくりが必要だと感じる。
委員	鷹巣に来られる方は、市内の他の観光地には寄らずに帰るのか。
委員	初めて来られた方は寄らずに帰るが、2回目3回目の方は他へ寄る余裕が出てくる。
委員	他へ寄る人は、自ら調べて来られるのか。
委員	調べて来られる人もいれば、地元の方目線のことを聞いてこられる方もいる。
委員	そのような方に向けた情報発信があっても良いかと思う。
委員	情報をまとめたものを紹介して見てもらうことも良いと思うが、そのワンクッションを挟むことで手間が増えることもある。ダイレクトに伝えることで興味を持ってもらえることもある。
委員	情報発信していても、古い情報や新しい情報が混在している。観光客目線の作り方が大事。アンケートは手間がかかる、面倒くさいと感じる。アンケート以外の方法もあるのではないか。
委員	SNSで、どれくらい宍粟市の情報が発信されているかで調べる方法もある。宍粟市にはいろんな切り口の観光があるので、ひとつの入り口から入って回遊してもらう。また、まずどこへ行けばいいのかとなったときの、拠点をつくる。
委員	目標については努力目標なのか。
事務局	総合計画に沿った、達成を目指して取り組む目標である。
委員	年号の書き方がわかりにくい、和暦、西暦の決まりはあるのか。
事務局	わかりやすくなるよう検討する。
委員	次回はどのような内容か。
事務局	まず事務局より、骨子の4つの取組に沿って、それぞれに具体的な案を出させていただく。また今回の意見も精査して回答させていただく。次回はボリュームが多くなると思うので、できるだけ早く事前資料を提示させていただきたいと考えている。

副委員長	<p>5 閉会</p> <p>今回、いろんな意見があったので、事務局で精査いただければと思う。県民局の令和4年の観光施策として、水の観光スポットを集めたマップを考えている。また次回会議で紹介させていただければと思う。コロナで傷んだ観光をどう復活させるかが肝になっている。デスティネーションキャンペーンや大阪万博に向けて、観光の良い波に乗っていきたいと感じる。行政だけが盛り上がるのではなく、住民の方の盛り上がりも必要だと感じているので、またこの場を通じて紹介させていただけたらと思う。</p>
------	--

* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。